

寄贈図書リスト

シリーズ現代の天文学 宇宙の観測I—光・赤外天文学,
家正則 岩室史英 舞原俊憲 水本好彦 吉田道
利編, A5判, 328頁, 2,700円+税, 日本評論社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台研究教育職員 (ハワイ観測所(岡山分室) 助教)

1. 研究教育職員 助教 1名
2. (1) ハワイ観測所(岡山分室)
(2) 岡山県浅口市
3. 天文学, 天体観測システム
4. 国立天文台では平成30年度から、188 cm望遠鏡による共同利用観測を改め、京都大学の協力のもと3.8 m望遠鏡で共同利用観測を開始する予定です。この共同利用観測を推進するため、ハワイ観測所岡山分室を設置します。3.8 m望遠鏡の共同利用を通して、188 cm望遠鏡で進められてきた研究をさらに進化させる機会を光赤外天文学コミュニティに提供するだけでなく、広くタイムドメイン天文学を含む新たな天文学研究の発展に貢献していくことを目指しています。
今回募集では、岡山分室に所属して、3.8 m望遠鏡における共同利用観測の推進のため、以下の業務に積極的に携わる方を求めます。
 - ・3.8 m望遠鏡による共同利用観測の開始の実現とその後の推進
 - ・3.8 m望遠鏡の運用への貢献

・関連する観測的研究の積極的な推進

5. (1) 平成30年4月1日以降のできるだけ早い時期
(2) なし(定年65歳)(5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動していただくことがあります)
6. 大学院博士課程修了またはそれと同等以上の方。
7. (1) 履歴書(写真貼付)、(2) 論文リスト(査読論文とその他を区別すること)ならびに主要論文3編の写し(PDFファイル添付)、(3) 研究業績(天文学研究と天体望遠鏡システム開発などの実績)、(4) 研究計画書(今後の職務に対する抱負と活動計画)、(5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先、(6) 速やかに連絡できる本人連絡先(e-mailアドレス)
8. 平成30年3月14日(水)17時必着(日本時間)
9. (1) 応募書類を
apply-okayama-assis20180314@nao.ac.jpへ、メール件名を「ハワイ観測所岡山分室助教応募」とし、添付ファイルで送付して下さい。
(2) 〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄3037-5 国立天文台岡山天体物理観測所長 泉浦秀行
e-mail: izumiura@oao.nao.ac.jp
メールの件名は「岡山分室助教公募への質問」としてください。
10. ・すべての応募書類(上記7の(1)~(6))はPDFファイルに変換し、メールに添付すること。
 - ・PDFファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(メール1通につき最大10MB程度まで)。
 - ・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします。それが届かない場合には、apply-okayama-assis20180314@nao.ac.jpへお問い合わせください。
 - ・選考にあたっては面接を行う場合があります。

その際の交通費、宿泊費は応募者の負担とさせていただきます。

11. 給与待遇は年俸制になります（年額の12分の1を月額支給）。
- ・選考は国立天文台運営会議で行います。
- ・国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/>をご覧ください。

国立天文台研究教育職員（理論研究部）

1. 助教1名
2. (1) 国立天文台理論研究部
(2) 東京都三鷹市
3. 天文学の理論的研究
4. 共同利用機関の教員として全国の理論研究者との連携を保ちつつ、観測天文学も視野に入れて、理論天文学の研究を推進する研究者を求めます。
(A) 観測天文学と理論天文学をつなぐような研究、先端的シミュレーション研究など研究部が推進する研究を自ら行うだけでなく、わが国の理論天文学の推進に尽力でき、(B) 研究部の運営（総研大天文科学専攻における教育を含みます）にも貢献できる方を求めます。シミュレーションを用いた理論研究を行っている場合は、天文シミュレーションプロジェクトに併任することで、共同利用スーパーコンピュータシステムの運用とそれを用いた研究の推進も期待します。
5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期
(2) なし（5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動させることがあります）
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書（e-mailアドレス含む）、(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと、主要論文5編以内に○印を附すこと）、(4) 着任後の研究計画と抱負（職務内容に関する抱負を含む）、(5) 意見を求めることのできる2名の氏名とその連絡先（意見書は1次選考後直接依頼します）
8. 応募は日本時間2018年3月1日（木）から3月31日（土）までの間に行ってください。
9. (1) 下記URLの応募フォームにアクセスし、必要事項の入力と必用書類のアップロードを行って

ください。<https://application.nao.ac.jp/dta2018/>

- (2) 国立天文台理論研究部主任 富阪幸治
〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台
e-mail: jokyo@th.nao.ac.jp
10. 応募投稿が受理されると、自動的に確認メールが送られますが、それが届かない場合はappl-dta2018@nao.ac.jpへお問い合わせください（_AT_を@で置き換えてください）。面接を行う場合があります。その際の交通費、宿泊費は応募者の負担とさせていただきます。
11. 給与待遇は年俸制となります（年額の12分の1を月額支給）。選考は国立天文台運営会議で行います。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/>

東京大学宇宙線研究所 教授公募

1. 教授・1名
2. (1) 附属重力波観測研究施設
(2) 千葉県柏市
3. 4.
現在、重力波観測研究施設では大型低温重力波望遠鏡KAGRAを建設中です。
LIGOやVirgoとの協議の中核を担い、国際共同観測・研究体制を構築し、KAGRAの重力波観測データをもちいて連星ブラックホールや連星中性子星合体等様々な起源の重力波を対象とするデータ解析および重力波物理学・重力波天文学において中核的役割を担える方を求めます。また、KAGRA データサーバーの管理・運用にも責任をもっていただきます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 無し
6. 無し
7. 応募者は以下(1)から(5)までの書類を、e-mailに添付（電子ファイル）で提出してください。応募書類のファイル形式はpdfとします。e-mailによる提出に対しては、受信した旨の返信をしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。
(1) 履歴書
(2) 研究歴（A4版で3頁以内）
(3) 業績リスト（論文リスト、研究発表リスト等）、及び主要論文別刷（5編以内）。

提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。

(4) 着任可能時期

(5) 着任後の研究計画 (A4版で3頁以内)

8. 応募締切: 平成30年4月2日(月) 12時必着

9. (1) e-mail: application@icrr.u-tokyo.ac.jp

(2) 東京大学宇宙線研究所附属重力波観測研究施設長 大橋正健

電話 (0578)-85-2343

e-mail: mohashi@icrr.u-tokyo.ac.jp

10. 応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。

11. 選考: 選考委員会による書類選考の後、面接を受けていただくことを原則とします。面接を受けていただく方には詳細を連絡します。

その他: 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

茨城大学理学部教員

(宇宙科学教育研究センター・教授)

1. 2017年7月 (第110巻第7号)
2. 米倉覚則 (茨城大学宇宙科学教育研究センター・准教授)
3. 2018年4月1日

研究助成

公益財団法人天文学振興財団

平成30年度研究助成等応募

当財団は、天文学の振興に寄与することを目的として、天文学に関連する分野の研究、教育および普及活動への必要な経費を助成いたします。

平成30年2月1日

公益財団法人天文学振興財団 理事長 観山正見

1. 応募種目

[1] 国際研究支援事業

(1) 研究に対する助成

・対象: 天文学に関する研究に従事する若手研究者 (申請者は原則35歳以下とする)

・助成: 研究経費 (設備用品費, 消耗品費, その他) 1件当たり100万円以内。

(2) 国際交流に対する助成

・対象: 天文学に関する海外での国際交流活動 (1カ月以内) に平成30年6月以降参加する研究者

・助成: 参加に要する往復航空運賃及び滞在費

(3) 国際研究集会開催および参加に対する助成

①国際研究集会開催に対する助成

・対象: 平成30年7月以降に国内外において天文学に関する国際研究集会を開催する研究者グループ

・助成: 1件当たり100万円以内。

②国際研究集会参加に対する助成

・対象: 平成30年6月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究集会に参加, 発表する研究者

・助成: 参加に要する往復航空運賃および滞在費

[2] 普及・啓発支援事業

(1) 普及・啓発活動に対する助成

・対象: 天文学および関連分野の普及・啓発事業を行う個人, 団体

・助成: 事業経費 (設備用品費, 消耗品費, その他) 1件当たり100万円以内。

(2) 「スター・ウィーク協力イベント」に対する助成

・対象: 「スター・ウィーク2018」に協力する団体

・助成: 開催経費等

2. 申込期限:

・[1]-(1)・(2)・(3)-②, [2]-(1) は, 毎年5月末日, 9月末日, 翌年1月末日の計3回

・[1]-(3)-①は, 第1回が5月末日 (対象期間が30年7月以降の開催)

・第2回が9月末日 (対象期間が30年11月以降の開催)

・第3回が31年1月末日 (対象期間が31年3月以降30年6月末日迄の開催)

・[2]-(2) は5月下旬

3. 選考結果: 選考委員会が審査の上, 採択の可否については, 各申込期限の約1カ月後に文書で通知します。

4. 報告: [1]-(1) は, 年度末, それ以外の助成は帰国後または開催後1カ月以内に報告書を提

出すること。

5. 申請書：ホームページ上に Word ファイルと PDF ファイルが掲載されています。
6. 問合せ先：公益財団法人天文学振興財団 事務室
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台内
Tel: 0422-34-8801
Fax: 0422-34-4053
<http://www.fpastron.jp/>

会務案内

年会開催地立候補の募集

日本天文学会では年会開催地の決定にあたり立候補を募集いたします。詳しい内容は学会ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。なお、開催地は立候補状況を見ながら理事会にて決定する予定です。皆様、奮ってご応募お願いします。

事務所からのお知らせ

【移籍・退会について】

2017年度末をもって移籍・退会希望の方で、まだ学会事務所に連絡していない方は、大至急書類のご提出をお願いいたします。書式は当学会ホームページ「各種手続・書式」からダウンロードできます。

【会費納入について】

◆正・準会員の皆様◆

2018年度（2018年4月-2019年3月）会費の納入期間は、2018年3月、4月の2カ月間です。

正会員：15,000円

正会員（学生）：10,000円

準会員：8,000円

予稿集予約購読代：4,000円（予約している方）

PASJ紙版送料：2,000円（正会員の送付申請者）

- ・会費の口座自動引き落とし登録のない方には、3月上旬にコンビニエンスストア専用払込票を郵送します。
 - ・口座自動引き落とし登録の方は、2018年4月10日に引き落としますので口座残高不足にご注意ください。通帳には引き落とし代行会社の「JCB」という文字が印字されます。
 - ・海外在住の方は、上記金額をご確認の上、クレジットカードまたは銀行振込等でご納入ください。詳しくは学会ホームページ「各種手続・書式」の「会費納入」をご覧ください。
- ※払込票の控え、またはクレジットカード会社・金融機関の利用明細、引き落としが印字された通帳のコピーをもって本学会の領収書とさせていただきます。控えや明細書は大切に保管してください。

◆団体・賛助会員の皆様◆

4月に請求書をお送りしますので、それ以降にご納入ください。

賛助：30,000円（1口） 団体：10,000円

入会・移籍・退会のお知らせ

2017年12月23日に開催された公益社団法人日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。

入会 正会員：55名 準会員：15名

移籍 準会員→正会員：1名

退会 正会員：6名 準会員：1名

計 報

会員の田中靖郎氏は2018年1月18日にご逝去されました。満86歳でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまづ必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は youtsumi@hiroshima-u.ac.jp まで、
またその他のご質問は toukou@geppou.asj.or.jp までお願いします。

(天文月報編集長)

天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆者のために日本天文学会HPに「投稿用Tex/MS Wordテンプレート」をご用意いたしました。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtex/あるいは文字コードに応じてu_Tex2/, MSWordで執筆される方はword/をご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol110** (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

小宮山裕 (委員長), 上野悟, 岡部信広, 奥村真一郎, 押野翔一, 滝脇知也, 富田賢吾, 中村航, 萩原喜昭, 松田有一, 諸隈智貴, 山田真也

平成30年2月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2018年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)